

随意契約の相手方及び理由等(物品関係)

区 分	内 容 等	備 考
契 約 年 月 日	令和6年7月16日	
契 約 件 名	APD貸出装置 1台	
契 約 金 額	15,400,000円	
契 約 の 相 手 方	神奈川県川崎市川崎区田辺新田1-1 富士電機(株)	
問 合 せ 先	財務部東海契約課東海契約第一係 Tel 029-284-4890	
随意契約の適用条項	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 契約事務取扱規則第32条第1項第1号	契約の性質又は目的が競争を許さないとき
契 約 の 概 要	J-PARCでは発生装置室内で作業をする場合には、作業者はアラーム付き個人線量計(APD)を常に装着し、放射化した電磁石等からの放射線による被ばくを測定し、作業者の放射線に対する安全に万全を期している。 上記の各種データは放射線管理区域入退出管理システム(NOACシステム)によって、日本原子力研究開発機構側で構築したJ-PARC放射線管理用サーバに伝送され、J-PARCとして被ばくデータを一元管理している。 本件は、入退出管理設備の一部であるAPD貸出装置の更新のため、あらたなAPD貸出装置を製作するものである。	
随意契約の理由	今回製作するAPD貸出装置は上位計算機からの指示により、APDの警報設定値を変更し、また、APDが返却された時には、APDから線量データを読み込み、上位計算機にデータを伝送する機能が必要である。 そこで、APD貸出装置の運用にはAPDとの連携が不可欠であり、APD貸出装置を設計するうえではAPDの伝送仕様を把握する必要がある。 J-PARCの入退出管理システムに使用されるAPDは富士電機(株)製NRG10812-GYPYY-Sであり、このAPDと連携したAPD貸出装置を設計する技術を有するのは富士電機(株)において他にはない。 以上の理由から、本契約の相手方として、富士電機(株)を選定する。	